

科目名	国語	科目コード 50020
------------	-----------	----------------

専攻名・学年	環境都市工学科 2年	担当教官	猪平 直人		
単位数	3単位・必履修	開講期間	通年	時間数	90時間
				内訳^(時間)	講義(90), 演習() 実験(), その他()
教科書	国語総合(現代文編・古典編) (東京書籍) 基礎からの国語表現の実践 (京都書房) 以上の2点は、1年次に購入済 精選現代文 (東京書籍) 精選古典(東京書籍) 以上の2点は、新規に使用するもの				
補助教材	新総合図説国語 (東京書籍) 30回完成標準漢字 (受験研究社) 以上の2点は、1年次に購入済 他に、授業担当者によるプリントなど。				
参考書	授業中に随時指示する。				

A 科目の概要	
2 学年の国語では、1 学年での学習を基礎に、いっそう深く確かな理解を目指す。国語力の向上には、語彙力・文法知識などを深めることも必要だが、同時に広い視野や、共感する力、論理的思考力など、人間としての成長とも深いかわりを持つ要素が多いことを忘れてはならない。現代文・古文・漢文の読解と、国語表現の実践を通して、総合的な思考力を含めた国語力の向上を目指す。1 年次よりやや高度な内容を扱う。	
B 到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・現代文の読解では、人間や社会に対する洞察を深め、その本質について考えるとともに、現実世界に対する広い視野を獲得することを目指す。 ・古文では、日本人の原初的な感性を学び、現代文化の基層に生きている日本固有の精神や、逆に現代社会が見失いかけている思想のあり方を感じ取る。 ・漢文では、雄大で複雑な感性と、古来日本人が影響を受けてきた論理的思考のあり方を学び、翻って日本文化の特性を見つめなおす契機とする。 ・国語表現に関する基礎的な知識をより深め、主体的に表現する姿勢を獲得する。 	
C 長岡高専の学習・教育目標との対応	(B)
D 履修上の注意	
授業で扱う教材については、事前に必ず通読し、語の読みや意味が不明な場合は調べておくこと。特に古文・漢文は、あらかじめ音読の練習をしておくこと。授業で扱う教材にあわせて、国語辞典・古語辞典・漢和辞典を持参し、活用すること。また、1 年次から引き続いて使用する教材が多いので、紛失しないように留意すること。	
E 評価方法	
年 4 回の試験を実施し、その結果を最も重視する。授業中に実施する小テスト、提出物などを補助的評価として用いる。	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	授業の進め方について・現代文(評論)の読解(1)	
2	現代文(評論)の読解(2)	
3	現代文(評論)の読解(3)	
4	国語表現の実践(1)	
5	古文の読解・鑑賞(1)	
6	古文の読解・鑑賞(2)	
7	古文の読解・鑑賞(3)	
8	前期中間試験	
9	漢文の読解・鑑賞(1)	
10	漢文の読解・鑑賞(2)	
11	現代文(小説)の読解(1)	
12	現代文(小説)の読解(2)	
13	現代文(小説)の読解(3)	
14	国語表現の実践(2)	
15	前期末試験	
16	現代文(随想)の読解(1)	
17	現代文(随想)の読解(2)	
18	現代文(小説)の読解(4)	
19	現代文(小説)の読解(5)	
20	現代文(小説)の読解(6)	
21	国語表現の実践(3)	
22	古文の読解・鑑賞(4)	
23	古文の読解・鑑賞(5)	
24	後期中間試験	
25	現代文(評論)の読解(4)	
26	現代文(評論)の読解(5)	
27	現代文(評論)の読解(6)	
28	漢文の読解・鑑賞(3)	
29	漢文の読解・鑑賞(4)	
30	学年末試験	